

新設Cチーム企画作成 基本構想(変更原案)に対する7件のコメント

参考資料2基本構想(変更原案)35ページ

	項目	整備等の方針(□:全駅共通)
駅舎	11. トイレ	<p>□(11-1) 個別機能を備えた便房や複数のリアフリースイートイレ(車椅子対応トイレを含む)</p> <p>◇(11-2) 高齢者、障がい者等の利用の状況において、車椅子利用者用便房のほか、車椅子用オストメイト設備を有する便房、乳幼児連れ対応トイレの機能の分散化について検討する。また、分散化されたトイレの機能をわかりやすく表示するための案内用図記号()を設置する。</p> <p>□(11-3) 高齢者、障がい者、異性介助者、トランスジェンダー、乳幼児連れの人等すべての人が利用しやすいように、施設の用途、規模に応じて計画・設計を行う。また、オールジェンダートイレの設置について検討する。</p>
	12. 休憩設備	<p>□(12-1) 旅客の円滑な流動に支障を及ぼさない範囲内(ホームやコンコース等の可能な場所に休憩設備等)を設置する。</p> <p>□(12-2) 休憩設備等には優先席の設置に併せて、当該優先席等を利用することができる者を表示する。</p> <p>◇(12-3) 大規模な旅客施設においては、待合室、待合スペース、カームダウン/クールダウンスペースを配置する。</p>
その他	13. 情報提供	<p>□(13-1) 障がい等の特性に応じた利用者への適切な情報提供に努める(情報提供のアクセシビリティ確保に向けた取組等の実施)。</p> <p>□(13-2) 異常時に、改札付近をはじめ、エレベーターや車両内等において、全ての人に必要情報をわかりやすく提供するため、視覚や聴覚、触</p>

1. LGBTQ+ソフト対応に関する整備方針を打ち出す。
 「(11-4)どのような見た目であるかや行動障害の有無に関わらず、すべての人が排除されない安全なトイレの環境を提供する。」

2. (11-3)「について検討する」の削除
 「また、オールジェンダートイレを設置する」

		<p>◇(12-3) 大規模な旅客施設においては、乳幼児連れの利用者のための施設、カームダウン/クールダウンスペースを配置することが望ましい。</p>
その他	13. 情報提供	<p>□(13-1) 障がい等の特性に応じた利用者への適切な情報提供に努める(情報提供のアクセシビリティ確保に向けた取組等の実施)。</p> <p>□(13-2) 異常時に、改札付近をはじめ、エレベーターや車両内等において、全ての人に必要な情報をわかりやすく提供するため、視覚や聴覚、触覚の複数の手段を用いて、可能な限り全ての人が同一の内容の情報を同一の時点において取得することができるように努める。</p> <p>□(13-3) 駅長室や総合案内所等で、介助を含む充実した案内・誘導サービスの提供に努める。また、窓口等で障がいのある方の障がいの特性に応じたコミュニケーション手段(筆談、読み上げなど)で対応する等、積極的に合理的配慮の提供に努める。(3-5の再掲)</p>
	14. 心のバリアフリー	<p>□(14-1) バリアフリー設備の機能を十分発揮させるため、係員・乗務員等の施設・設備の操作方法や接遇方法の周知・操作や接遇等の必要な人的対応を適</p> <p>□(14-2) 職員への研修・教育においては、</p> <p>□(14-3) 移動等円滑化整備に関する利用</p>

3. 以下の課題について整備等の方針をまとめていただきたいです。

課題a: 鉄道施設で行われている情報提供(駅舎内掲示物、駅員による指示や案内)の多くがSOGIESCの多様性を前提としておらず、シスヘテロ※のみに偏っていること

※シスジェンダー(生まれた時に割り当てられた性別と、性自認が一致している人)であり、ヘテロセクシュアル(異性愛者)であること。

課題b: どのような見た目であるかや行動障害の有無によって一部の人がトイレを安全に利用できず、日常的に時間をかけて探す不便や健康上不利益を被っていること

		設計を行う。また、オールジェンダートイレの設置について検討する。
	12. 休憩設備	<input type="checkbox"/> (12-1) 旅客の円滑な流動に支障を及ぼさないよう、コンコース等の可能な場所に休憩設備等を設置する。 <input type="checkbox"/> (12-2) 休憩設備等には優先席の設置に配慮し、当該優先席等を利用することができる者を表す。 <input checked="" type="checkbox"/> (12-3) 大規模な旅客施設においては、待合室、待合スペース、カームダウン/クールダウンスペースを配置する。
その他	13. 情報提供	<input type="checkbox"/> (13-1) 障がい等の特性に応じた利用者への情報提供のアクセシビリティ確保に向けた取り組みを実施する。 <input type="checkbox"/> (13-2) 異常時に、改札付近をはじめ、エスカレーター等において、全ての人に必要な情報をわかりやすく伝達する。視覚の複数の手段を用いて、可能な限り全ての利用者に対して同一の時点において取得することができるように努める。 <input type="checkbox"/> (13-3) 駅長室や総合案内所等で、介助を含む充実したサービスを提供に努める。また、窓口等で障がいの特性に応じたコミュニケーション手段（筆談、読み上げ等）で対応する等、積極的に合理的配慮の提供に努める。（3-3の再掲）
	14. 心のバリアフリー	<input checked="" type="checkbox"/> (14-1) バリアフリー設備の機能を十分発揮させるため、係員・乗務員等の施設・設備の操作方法や接遇方法の習得に努め、施設・設備の使用・操作や接遇等の必要な人的対応を適切に実施する。 <input type="checkbox"/> (14-2) 職員への研修・教育においては、当事者参加が望ましい。 <input type="checkbox"/> (14-3) 移動等円滑化整備に関する利用者理解と連携を図る。

4. LGBTQ+に対する接遇の改善を促すため、LGBTQ+の適用も想定される文言への変更を提案します。
「すべての人が、不便や差別を被ることなく安心して使用する環境を確保するため、」
「バリアフリー設備の機能を十分発揮させるため、」
「係員・乗務員等の施設・設備の操作方法や接遇方法の習得に努め、施設・設備の使用・操作や接遇等の必要な人的対応を適切に実施する。」

5. 以下の課題について整備等の方針をまとめていただきたいです。

課題: 本人の性自認で使えるかどうか、現状は平等な対応がされず、一部の人々が排除されていることについて、職員の理解が不足している。

	<input type="checkbox"/> 障がい等の特性に応じたコミュニケーション手法の活用や必要とする支援の提供	エレベーター等の設置 ・駅社員のサービス 介助士資格	—	継続実施
14.心のバリアフリー	<input type="checkbox"/> 職員への研修・教育の実施	エレベーター な利用等に や画像		
	<input type="checkbox"/> 一般利用者に高齢者、障がい者等への配慮を促す等、心のバリアフリーに関する広報・啓発活動の実施	職員の接客 のためのマ 研 職員		
	<input type="checkbox"/> 地域や関係団体との連携による多様な障がいの特性や必要な配慮について理解するための取組の実施	職員の接客 格(サービス 進 啓発)		

6. 「一般」の中にも多様なSOGIESCがあり、一方向的な配慮ばかりでは求める安心な環境の確保が難しいため、LGBTQ+含むすべての人の適用も想定される文言への変更を提案します。

「一般利用者に」「高齢者、障がい者」「等への配慮を促す」
 「、LGBTQ+等すべての人の共生」
 「等、心のバリアフリーに関する広報・啓発活動の実施」

7. 多様なSOGIESCの理解への適用も想定される文言への変更を提案します。

「地域や関係団体との連携による多様な障がいの特性や必要な配慮」
 「、多様なSOGIESC」
 「について理解するための取組の実施」